

なん
ぽろ

議会だより

地域の皆さん、本当にありがとうございました!
北海道南幌高等学校 令和5年3月31日 閉校



第49回南高祭
The Final
2022.7.16



第3回
定例会

令和3年度各会計・病院事業会計決算を認定

3年生6名で作りあげた南幌高校最後の学校祭
(令和5年3月31日をもって閉校)

9月 第3回定例会 審議結果

9月定例会は9月7日に開会し、議員2名が一般質問を行いました。

その後、令和3年度各会計・病院事業会計決算認定を決算審査特別委員会に付託（8日から12日までの休会中に審議）、町健全化比率等の報告、補正予算など15件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

令和3年度決算認定

○一般会計・5特別会計 ○病院事業会計

一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計は、決算審査特別委員会を設置して審議した結果、本会議において各会計とも原案のとおり認定されました。

令和4年度補正予算

○一般会計補正予算（第3号）

歳入では、普通交付税確定、新型コロナウイルススワクチン接種事業及び子ども室内遊戯施設整備事業に係る国庫支出金、令和3年度繰越金確定、地方債の追加。

歳出では、子ども室内遊戯施設整備事業費の追加、新型コロナウイルススワクチン接種事業費の追加、中央公園取付道路移設及び臨時駐車場整備費の追加、学校情報通信ネットワーク環境整備用備品購入に係る経費の追加による。

◆補正額 3億500万7千円追加

○一般会計補正予算（第4号）

歳入では、南幌温泉ハート&ハート基金繰入金及び地方債の追加。歳出では、南幌温泉改修工事費の追加による。

◆補正額 519万2千円追加

議員 質疑

議員 値上げラッシュが続いているが、燃料費の高騰などもあり南幌温泉の入浴料の値上げはあるのか。

町長 温泉の利用料金は条例で上限額を規定している。その中で指定管理者からは値上げに関する話が現在のところないので、当面は現行のままと考えている。

○下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入では、委託料の追加に伴う国庫補助金の追加、令和3年度繰越金確定に伴う追加、一般会計繰入金の減額。

歳出では、晩翠汚水中継ポンプ場実施計画策定業務委託料の追加による。

◆補正額 850万円追加

○介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入では、基金繰入金の減額及び令和3年度繰越金確定に伴う追加。

歳出では、基金積立金及び国庫支出金等精算金の追加による。

◆補正額 3925万5千円追加

条例制定等

○南幌町地区計画等の案の作成手続に関する条例（制定）

都市計画法の規定に基づき、地区計画等の案の作成手続に係る必要事項を定めるため。

○南幌町議会議員及び南幌町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（改正）
公職選挙法施行令の改正のため。

○職員の育児休業等に関する条例（改正）
地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正のため。

○町税条例（改正）

地方税法等改正のため。

契約関係

◆契約の目的

農業水路等長寿命化・防災減災事業南7線排水路地区排水路改修工事

◆契約金額 5918万円

◆契約先 ㈱南幌土建

人事案件

○教育委員会委員の任命

伊藤 憲二さん（北町）

その他

○字の区域の廃止

○南幌町健全化判断比率及び南幌町資金不足比率の報告

令和3年度の各会計決算を基に算定した、本町の健全化判断比率及び資金不足比率について報告。

○教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

令和3年度の教育委員会の活動状況に関する点検・評価について報告。

○町出資法人の経営状況報告

（株）南幌振興公社の経営状況について報告。

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

女性デジタル人材育成について、デジタル化が進むことにより、大都市一極集中による過度な人口の偏在の緩和や、感染症等のリスク低減が図れるとして、大きな期待が寄せられていることから、地方における女性デジタル人材育成の強力な推進を図るため、次の事項を実施するよう求める。

- ①自治体規模に合わせた取り組みやすい参考事例を国として積極的に発信すること。
- ②テレワーク可能な企業の斡旋、紹介については全国規模で行えるよう、サービスやシステムソフトウェアの提供、カスタマイズ運営するために必要な共通基盤となる標準環境を形成すること。
- ③デジタルスキルを習得してテレワークを活用しながら就労ができ、

サポートを受けながら業務に必要な知識を引き継いで、実践的な経験を積む機会を提供すること。
（他2項目）

◆提出者 佐藤 妙子議員

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要です。

よって、国においては、次の事項について特段の措置を講ずるよう要望します。

- ①公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること。
- ②5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保し継続的に取り組むこと。
- ③高規格道路については、早期開通、

～現地視察～ 道央廃棄物処理組合

焼却施設建設現場を視察

令和4年9月12日



（千歳市根志越）

臨時会

第4回 7月29日

補正予算1件、契約関係1件が提案され、原案のとおり可決しました。

○一般会計補正予算（第2号）

歳入では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、財政調整基金繰入金の追加。
歳出では、コロナ禍における価格高騰等緊急経済対策として実施す

未着手区間の早期着手。道路の防災対策・無電柱化などによるリダンダンシーの確保を図ること。
（他7項目）

◆提出者 本間 秀正議員

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。

■令和4年第3回定例会

令和4年度会計補正予算、条例制定など15議案について、議長を除く10名の議員が賛成しました。

■令和4年第4回臨時会

令和4年度会計補正予算、契約関係の2議案について、議長を除く10名の議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

契約関係

◆契約の目的

中央公園大型滑り台改修工事

◆契約金額 7216万円

◆契約先 共立道路株式会社

る、生活応援チケット事業及び緊急営農支援事業並びに運送事業者等支援事業に係る経費の追加による。

◆補正額 8416万3千円追加

議会の動き

全員協議会

7月19日

○教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について

○町立病院の経営状況について

○子ども室内遊戯施設について

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

○南幌町開拓130年・町制施行60周年記念式典について

8月22日

○準工業用地等整備事業について

○中央公園駐車場整備について

○移住体験住宅について

9月7日

○南幌温泉新館貯湯槽の破損による対応について

9月12日

○移住体験住宅について

委員会活動

◆総務常任委員会

7月29日

○議会報告懇会での町民からの意見について

8月22日、9月6日、9月16日、10月5日

○南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告について

◆産業経済常任委員会

7月19日

議員活動

9月26日

○元議員物故者追悼法要（誓松寺）

○議会報告懇会での町民からの意見について

○南幌町みんなできいなまちをつくる条例について

8月18日

○南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告について

○南幌町農民協議会からの要望書について

8月26日、9月13日

○南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告について

10月5日

○南幌温泉の改修について

◆議会運営委員会

8月31日

○定例会の運営について

○南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告について

○議会評価提言者評価シートについて

◆南幌町まちづくり特別委員会

8月9日

○南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告について

9月12日

○道央廃棄物処理組合焼却施設建設現場視察（千歳市）

Follow-up ～追跡調査～
あの質問どうなった！？

～子育て世代の移住定住促進～

住宅建築助成金の創設で住宅団地の販売が好調へ

議会では以前から子育て世代の移住に向けた取り組みについて、大胆な建築費助成を訴えてきました。

平成28年第1回定例会の一般質問において、町政執行方針の中で計画していた、子育て世代に対する住宅建築費の助成を大いに進めるべきとの発言が起爆剤となり、北海道住宅供給公社における宅地価格50%オフや南幌町として上限200万円の住宅建築費助成事業を展開した結果、現在のきた住まいるヴィレッジを含め、みどり野団地の好調な販売につながっています。

来年には子ども室内遊戯施設「はれっぱ」も完成し、住みやすい町の輪が広がってきます。議会として、この事業を注視してまいります。



5年前の美園地区

南幌町みどり野 きた住まいるヴィレッジ
オープニングセレモニー

平成30年6月



北海道町村議会議員研修会報告

北海道町村議会議長会主催

今年度の研修会は7月6日、札幌コンベンションセンターに全道各地から約1600名の町村議会議員が参加して1部、2部の2回に分け盛会に開催されました。当議会からも議員全員と職員2名が出席しました。

研修会では、政治ジャーナリストの泉宏氏を講師に迎え「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」と題して、講演していただきました。

7月の参議院選挙終了後の政治日程予測や政治の方向性についてお話をいただきました。なかなか難しい内容でしたが巧みな話術で時間を感じさせない素晴らしい講演でした。

空知町村議会議員研修会報告

空知町村議会議長会主催

7月14日秩父別町ファミリースポーツセンターで空知管内の議会議員、町職員、地域住民を対象に盛会に開催されました。

当議会からも議員全員と職員2名が出席しました。研修会では、(株)北海道



二十一世紀総合研究所調査部特任審議役の木本晃氏を講師に迎え「まちが素敵になるしかけ」と題して、講演していただきました。

人口減少が大きな社会問題となっている現在、ほかの地域から人を呼び込む「交流人口」の増大が地域の活力を取り戻す重要な課題となっており、今回の公演は、それぞれの地域にある魅力を他の地域の方に伝えるためのきっかけづくりについて学びました。

交流人口を増やし町の発展につなげるため、観光とまちづくりについて事例を紹介していただくなど大変有意義な研修となりました。

秩父別町子ども屋内遊技場
キッズスクエア「ちっくる」
の視察

7月14日空知議員研修会開催前の午前中に隣接している「ちっくる」を視察しました。



この施設は、約600㎡の広々とした空間に道内最大級のネット遊具と2階部分から滑り降りるチューブスライダーやクライミングウォールなどの遊具もありました。

また、屋外には2m四方のキューブを組み合わせた6層建て、高さ13mの大型遊具やハンモック、アスレチック等があり、近くには道の駅もあります。

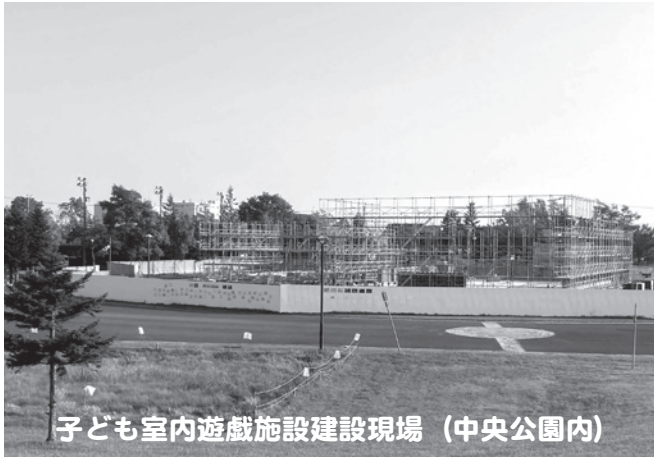
本町で建設中の子ども室内遊戯施設のこともあり、有意義な視察となりました。

一般質問に2人が登壇

議員本人が要約して掲載しています



熊木恵子 議員

Q 子ども室内遊戯施設の
事業費の増額はあるのかA 更なる事業費の増額は
ないと考えている

子ども室内遊戯施設建設現場（中央公園内）

熊木議員

誘客交流拠点施設整備事業から事業名を変更し、子ども遊戯施設として建設が始まり、町民から公募した愛称が「はれっぱ」に決まりました。

これまで全員協議会等で、施設の縮小や物価、工事費高騰に伴う事業費の増額について説明がありました。令和4年第3回臨時会

において契約内容が示され、私はこれ以上の値上げを想定しているかと質問しましたが、施設を縮小しての事業費となっており、早期発注などの対応により値上げは予定していない、現段階では現行予算の中で進めるとの答弁でした。

その後、総事業費の1割程度の増額になるとの説明がありました。更なる価格の高騰による工事費の増加はないか。また搬入される遊具等の価格に変更はないか伺います。

維持管理費については、従前示されていた事業計画書では利用料金は、町民100円町外300円となっており、利用料収入見込み額は1100万円、公園全体で年間14万5千人の利用が想定されているが、長引くコロナ感染症の影響を考えると、施設への入場者数が見込まれない場合の維持管理費は町負担にならないのか懸念します。全体の維持管理費の負担割合等を含め、これまでの変更等を反映させた事業計画書を再度示すべきと考えるが町長の考えを伺います。

町長

事業費については事業契約締結後、ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、世界的な原油価格や物価高騰の影響により当初事業費の約1割の増額が生じました。今後においては、今回のような世界情勢の変化がない限り、更なる事業費の増額はないものと考えています。

維持管理費については、子ども室内遊戯施設を中心

とした中央公園全体の利用者は、年間14万5千人、うち本施設では12万人を目標としています。より多くの方に来場いただき、維持管理費への負担が生じないよう取り組んでいきます。

変更した内容については広報等で都度お知らせしており、事業の目的等に影響を及ぼす内容ではないことから改めて示す考えはありません。

Q 高齢者のごみ出し支援策は

A 支援の必要性は認識している

熊木議員

高齢化に伴いごみ出しに困難を抱える高齢者が増加しています。分別ができなくなつた、地域のごみ集積所に出しに行くのが大変になった、農村地域では免許返納に伴いごみ出しが困難になった、将来不安だという声も聞かれ、将来の高齢化を見据えて町として対策を講じる必要があります。

町民へのアンケート調査の実施やごみ出し支援制度の創設について伺います。

町長

令和3年度からの第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定時に実施したニーズ調査では、要望は少なく、要介護認定を受けている方のごみ出し支援は訪問介護の中で対応しています。今後、高齢化の進展に伴い、家族介護者の高齢化、認知症の増加が見込まれる中、ごみ出し支援の必要性は認識しています。

ニーズ調査などを踏まえ、生活支援を検討します。

Q 除雪オペレーター不足への対応は



内田恵子 議員

A 道路維持組合と協議していきます



内田議員

道路除排雪業務は、近年高齢化が進み、除排雪業務を担う事業者の除雪オペレーター不足が大きな課題となっています。除排雪業務は主に深夜から早朝にかけての作業で休みも不規則です。そのことから必然的に現況の除雪オペレーターで対応していることで、年

齢層も高くなっていると考えます。

北海道開発局によると、平成17年に2500人ほどいた除雪オペレーターは平成27年には1300人余りまで減り、更に60歳以上の割合は平成17年には6%程度でしたが、平成27年には16%まで上昇しています。国や北海道開発局では課

題解決のための省力化を進めています。我が町も除雪オペレーター不足が懸念される中で、喫緊の課題として次の点を伺います。

①除雪車両運転手の省人化として、除雪オペレーターを2人体制から1人体制への移行の考えは。

町長

①1人体制への移行は、除雪作業の安全確保が重要であり、機種に合わせた機械装備等も必要ことから、除雪機械の更新計画に合わせ検討します。

内田議員

②除雪オペレーターの人材確保及び後継者育成に対する考えは。

町長

②現在、除雪オペレーターの人員は確保されていますが60歳以上の割合が増加している状況にあります。将来にわたり、安全かつ円滑な除雪体制を維持するため、若手オペレーターの確保・育成は必要であると考え、ことから、除雪事業者の実情や先進事例を踏まえ検討します。

内田議員

③除雪機械運転免許取得支援についての考えは。



町長

③資格取得の助成については、札幌市が平成27年から、また、旭川市をはじめ数か所の自治体で昨年度から実施しています。本町の現状はそこまですべてないと考えておりますが、将来的な必要性を考慮し、本町の実情を踏まえ調査検討を行っていきます。

調査先：埼玉県鳩山町議会、神奈川県愛川町春日台センターセンター
 日程：令和4年7月10日～11日
 派遣議員：本間秀正、西股裕司、細川美喜男

デマンド交通の運行状況について

埼玉県鳩山町（7月11日）

①町の概要

鳩山町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東西に長く菱形の地形で面積は25・73㎢とコンパクトな町である。

昭和30年、町村合併促進法に基づき、亀井村と今宿村が合併し鳩山村となり、人口4～5千人で推移していたが、民間住宅開発に伴い、昭和55年1万人を超えたことや、住民意向調査等により、昭和57年4月1日町制を施行し鳩山町になり、現在に至っている。人口は平成7年に約1万8千人になったが、その後減少傾向にあり、現在の人口は令和4年7月1



鳩山町の街並み



日で1万3234人、世帯数は6060世帯。

東京から50km、約1時間で利便性も良いことから、2021年度、町の住みやすさランキングの「町の幸福度」部門では、第1位となっている。

主な産業は農業で、水稲、小麦、豆類が主であるが、都市近郊の立地条件から野菜類も数多く作付けしている。経営の形態は、兼業が殆どで、専業農家は少ない。

②調査事項

鳩山町にはタクシー会社が存在せず、町内移動のための路線バスもなかったため、町全域を区域とし、更に乗り換えなし、ドアツー

ドアで運行するデマンドタクシーを平成21年度から実証運行しており、平成24年から本格運行に移行している。

本町は指定管理により運営しているが、鳩山町は隣町のタクシー会社に運営を委託し、本年4月からは本町と同様にAIを利用したシステムを導入し、運行を行っている。愛称を「はとタク」とし、町外運行を拡大、土日の運行開始など、充実させてきている。

利用料金は、町内全域が一律200円、町外へは300円と600円があり、行き先によって変わる。運賃の支払いは基本的には現金で、カードも使えるようになってきている。

運賃を設定するにあたっては、



デマンドタクシー「はとタク」

町民へのアンケートを実施し、一番多かった金額を設定している。町外への運行が可能になった経緯は、町内を巡回し患者も利用できた埼玉医大の教職員バスが廃止となったことから、町民からの代替えを求める声に応じ運輸局と協議を重ね、例外的に許可された事例となっている。（国土交通省では、交通空白地として鳩山町を認定したため、特例的に町外への運行を行っている。）

③所感

鳩山町は平成21年からデマンド交通として、ドアツードアの運行を行っていた。

町外への運行も、埼玉医大の教職員バス廃止により、運輸局が交通空白地として理解が得られたものと感じた。

土日の運行については、鳩山町ではタクシー会社が運営していることから、スムーズに実施となっているが、利用は少ないようだ。

本町の「あいるーと」も、運行から1年経過した状況であるが、今後の課題の検討材料として有意義な視察でした。また、鳩山町から南幌町の場合は交通空白地等に該当させ、福祉有償タクシーで検討した方がよいのではないかとアドバイスもいただいた。

新しい「コミュニティの拠点施設」について

神奈川県愛川町春日台センター（7月11日）

①町の概要

神奈川県の中央北部に位置し、町の面積は34・2km²で人口は約4万人が暮らしている。県東部には相模飛行場跡地に内陸工業団地があり、機械工業、流通拠点として知られている。南米からの労働者が多く、県内2位の外国人居住率となっている。

②調査事項

県の住宅供給公社が所有していた土地で運営されていた「春日台センター」というショッピ



春日台センターセンター

ングセンターが閉店した跡地に、愛川町の地域特性を踏まえ、コミュニティ拠点を計画。要介護高齢者、認知症・障害のある方など福祉サービス利用者、不登校や生活困窮者を含む多世代の人々が地域の中で共に暮らし、働き、活動する場所として本年3月より運営が開始されています。

【具体的な施設の取組】

- ◆「認知症グループホーム」「小規模多機能型居宅介護」といった高齢者の住まい。
- ◆障害のある人や何らかの生きづらさを抱える方の働く場と居場所。
- ◆言葉の壁で教育格差を抱える子どもたちの利用を始めた寺小屋スペース。
- ◆家庭内の家事を補助する洗濯代行や惣菜販売。

地域社会との分断を生まない拠点づくりが、生きづらさに直面する人々の居場所を創出することにつながるかと考えています。「支援と共生」の環境を構築し、発信することで同様の課題を抱える地方都市へのモデルになることを目指している施設です。

③所感

南幌町でも福祉関係の施設は



コロッケスタンドの様子

たくさんあるが、単独の施設が多いと思われる。今回視察に行った春日台センターセンターは、コミュニティ拠点として総合的な施設であった。当日はセンター管理者より説明を受け、内容として

- (1) 認知症グループホーム、(2) 小規模多機能型居宅介護、(3) 放課後等デイサービス、(4) 就労継続支援（①洗濯代行・コインランドリー、②コロッケスタンド③寺小屋④コモンスルーム・貸室など）地域の拠点作りをコンセプトに行っていた。本年3月の開設なのでまだ利用は少ない状況だが、子ども達と高齢者が一緒に居る光景が微笑ましく、このような取り組みを南幌町でも考えていくことが必要と思った。

「政務活動費」とは？

議員の政策調査研究等の活動のために支給される費用です。本町では、月額8,000円（年額96,000円）が支給されます。支給方法は後払い方式となっており、領収書や出張報告書、オンライン研修報告書など、規定の書類を提出することによって支給されます。また、提出された領収書などは議会HPに公開されます。

令和3年度政務活動費執行状況

①内田 恵子	支出済額	37,385 円	⑧加藤 真悟	支出済額	0 円
②佐藤 妙子	支出済額	0 円	⑨川幡 宗宏	支出済額	0 円
③熊木 恵子	支出済額	32,600 円	⑩細川美喜男	支出済額	0 円
④西股 裕司	支出済額	0 円	⑪側瀬 敏彦	支出済額	0 円
⑤志賀浦 学	支出済額	33,070 円	合 計	138,040 円	
⑥本間 秀正	支出済額	0 円		(執行率 13.1%)	
⑦石川 康弘	支出済額	34,985 円			

決算審査特別委員会

第3回定例会において、一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計の令和3年度決算をいずれも決算審査特別委員会（熊本委員長ほか委員8名）に付託されました。

決算審査特別委員会は、9月8日から3日間の日程で審議し、賛成全員で「原案のとおり認定すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。

委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員【ふるさと応援寄附事業】
寄附金の件数と返礼品報償費の件数との差は。

総務課 令和2年度のとうもろこしの先行予約分を令和3年度に発送したことから件数に差が出ている。

委員【ふるさと応援寄附事業】
近隣町村のふるさと納税による寄附金額と比べ、本町の寄附金額は少ないが、増やしていくための考えは。

総務課 今後もポータルサイト内で広告を展開し、新たな返礼品を考案しながら積極的に進めていく。

委員【地域おこし協力隊設置事業】
特産品コーディネート活動の成果は。

総務課 令和3年度は形にならなかったが、現在、「若葉のしずく」を使ったアイスクリームの開発を進めている。

委員【協働まちづくり推進事業】
まちづくり活動支援会議の内容は。

まちづくり課 支援事業に申請があった場合に、その内容を事務局で精査した後に支援会議にかけ、申請者にプレゼンをしていただき適正かどうかを審査している。

委員【子育て世代住宅建築費助成事業】
この事業への申請68件、交付27件とあるが、その内容は。

まちづくり課 本事業は住宅建築後に本町への転入が済んでからの交付となる。残り41件については令和4年度の交付となる。

委員【観光周遊策推進事業】
近隣市町村との連携は。

まちづくり課 札幌連携中枢都市圏や空知管内の他自治体等とも連携し、デジタルサイネージを活用した周遊を促す検討をしている。

委員【移住促進事業】
移住体験住宅利用者からの感想は。

まちづくり課 町内の温泉、ゴルフ場、公共施設を主に利用していた。自然豊かで自分らしく過ごせるという好意的な感想をいただいたが、車が不可欠で、交通が不便との意見もいただいた。

委員【移住促進事業】
空き家・空き地情報バンクの周知方法や取り組みの内容は。

まちづくり課 固定資産税の納付書郵送時に、空き家・空き地情報バンクの登録関係の書類を同封している。さらに、町で把握している団地内の住宅建設していない土地の所有者に別途文書で送付している。

令和3年度は新規登録13件あり、8件の契約成立があった。

委員【エリアマネジメント推進事業】
まちづくりサロン、地域団体との意見交換の内容は。

まちづくり課 コロナ禍

の影響により2回の開催となったが、グループごとにテーマを決めて意見交換を行った。

委員【防災対策事業】
災害対策本部設置運営訓練に伴う成果と反省は。

総務課 大規模災害発生時の初動の確認、本部設置後の各班との連絡、報告体制の確立や本部長会議における情報共有が図られた。今後においても職員の異動による影響が無いように2年に一度開催する。感染症対策として受付の段階で乳幼児、要介護者、ペットなどの区分け等が必要など反省点もあった。



まちづくりサロンの様子



委員【防犯対策推進事業】

特殊詐欺への対策は。

住民課 生活安全推進協議会で注意喚起の防災無線、啓発チラシ等の作成を行っているっており、栗山地区防犯協会では毎月地域安全ニュースを町広報誌に折り込み、注意喚起を図っている。

委員【広報・広聴活動事業】

ホームページの一部改修を行ったが、町民からの反応は。

まちづくり課 改修に伴う町民からの声は届いていないが、声を聴くための方策を検討していく。

委員【知名度向上対策事業】

PR事業との連携の効果は。

まちづくり課 町外向けのLINEの登録者数の増加に注力し、移住に興味がある

方々に直接情報を提供していく。

委員【学生支援推進事業】

当初より大きな事業となっているが、その効果は。

まちづくり課 この事業を通じ、北海道文教大学とも包括連携協定を結ぶことができた。寄附した人とされた学校の双方から良い取り組みとの声をいただいている。

委員【戸籍住民経費】

戸籍総合システムクラウドの安全性は。

住民課 専用回線の北海道総合通信網を使用している。クラウド化のメリットは、データセンターの耐震性及び免震構造、無停電電源を備えており、2要素認証による入退室管理、トラブルに対応できる技術者の常駐などがある。

委員【誘客交流拠点施設整備事業】

基本設計修正業務の内容は。

まちづくり課 ウッドシヨックや世界情勢による資材費の高騰により、建築費が約5500万円高騰となったことから設計修正を行った。

委員【生活路線等交通対策事業】

キャッシュレス決済システムの利用料が利用率に比べ高く感じるがその内容は。

まちづくり課 ビュローに設置している現金をチャージする端末も含めた金額となっている。また非接触型キャッシュレス決済システムが補助金の条件であるため必要経費と考えている。

委員【生活路線等交通対策事業】

あいるーと乗車に伴う相乗りでの運行割合は。

まちづくり課 相乗りが31・9%、単独が68・1%



となっている。今後オペレータと協議しながら相乗りによる効率化を目指していく。

委員【生活路線等交通対策事業】

税金だけではなく企業広告等を検討して運営維持や利便性の向上を図ってみては。

まちづくり課 デジタルサイネージに広告枠を検討している。また、車内広告等も検討していきたい。

委員【防災対策事業】

計画に基づき防災備品を揃えているが段ボールベッドの備蓄数と、最終的に何台備蓄する予定か。

総務課 防災倉庫に計141台、南幌中学校に5台備蓄している。一定量の備蓄を確保しているので現段階で整備は終了している。

委員【一般管理経費】

役場職員の作業服や女性職員の制服は自由となっているが、すぐ職員とわかるように統一していくべきでは。

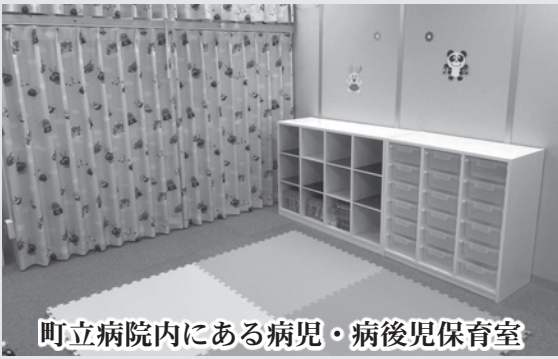
総務課 体温調節しやすい服装や作業服も安価で買い替えしやすい服装もある。職員からの要望もないため公費負担は考えていない。

委員【広報・広聴活動事業】
公式LINEの送信内容に条件等はあるか。

まちづくり課 営利目的でなければ特に条件等は決めている。各課からの情報は企画情報グループで精査している。

民生費

委員【病児・病後児保育事業】



町立病院内にある病児・病後児保育室

委託料の内容と保護者からの評価は。

保健福祉課 町立病院内の場所提供と医師・看護師の連携を委託し、利用者の増減に関わらず委託料を支払っている。

保護者からは安心が得られているとの声が寄せられている。

委員【避難行動要支援者避難支援事業】

避難行動要支援者を支援する人員の確保は。

保健福祉課 年度末時点で56名の避難行動要支援者の名簿を作成している。実際に災害が発生した場合には、地域住民や民生委員等の避難支援関係者が避難誘導に努めることとされているが、負担はかなり大きく、全国的にも課題となっている。総務課防災担当、保健福祉課、社会福祉協議会と連携して迅速に避難行動支援を行えるよう個別避難計画の作成に向けて検討していく。

委員【人工透析患者等通院交通費助成事業】

ここ2年間の該当者数と、この事業内容の周知

はどのように行っているか。

保健福祉課 令和2年度は透析患者12名、難病2名、令和3年度は透析患者11名、難病1名の申請だった。

対象者30名には郵送により通知し、そのうち12名から申請があり交付している。

衛生費

委員【感染症予防事業】

コロナ禍におけるインフルエンザワクチン接種の増減は。

保健福祉課 令和2年度についてはコロナと症状が似ていることから、例年よ



南13線西20号 のぼり旗

り増加し、令和3年度は平年並みとなった。

委員【ごみ処理対策事業】
不法投棄啓蒙活動の内容とその効果は。

住民課 監視カメラを2台、のぼり旗20本と看板を設置している。

委員【ごみ処理対策事業】
不法投棄がされやすい場所は把握しているか。

住民課 人目につかない場所の中で分散して投棄されている状況を把握しており、新たに不法投棄を確認した場所にはのぼり旗、看板等を設置している。

農林水産業費

委員【有害鳥獣捕獲事業】

猟友会の高齢化と今後の人材確保は。

産業振興課 全道的な問題となっている。狩猟免許取得支援事業を実施し農業被害の防止に努める。

委員【地産地消活動推進事業】

加工センター修繕の内容は。
産業振興課 大豆の絞り

機の部品交換と自動ドアのセンサー交換を行った。今後は屋根の補修を検討している。

委員【農業委員会】

農家戸数の減少が進んでいるが、将来の展望と対策は。

農業委員会 今後10年ぐらいで40件程度の農家戸数が減少することが想定される。町外からの新規就農や若者の就農支援などを検討し、JAなんぼろや農政担当、普及センターなどと連携していく。

商工費

委員【南幌温泉経費】

コロナ禍で落ち込んだ飲食などの収益を上げる



南幌温泉ハート&ハート

検討は。

産業振興課 コロナの影響で宴会がほぼ皆無の状況だが食で客単価を上げる検討もしている。A5ランクの和牛を目玉としたり、町内の食材を取り入れていきたいと考えている。

委員 【緊急経済対策事業】

緊急経済対策事業の効果は。

産業振興課 令和3年度は10種の支援事業を行った。プレミアム商品券や食品製造業町民還元事業は好評で町内経済の活性化が図られた。現状を維持できたことが支援事業の効果と感じている。

委員 【空き店舗活用支援事業】

家賃の補助以外にどのような支援を行っているのか。

産業振興課 備品や改修等の支援も行っている。町外からの問い合わせも多くなっている。

土木費

委員 【公園施設管理事業】

利便性を上げるため



キャンプ場でゴミ処理を行えるよう検討しては。

都市整備課 多くのキャンプ場では原則としてゴミは持ち帰ることになっている。処理を行うとなると仕分けの細分化や委託料の増額も問題となるので現行どおりと考えている。

委員 【公園施設管理事業】

都市公園指定管理の内容は。

都市整備課 公園全27か所中、25か所を建設業協会へ委託している。主に草刈りや設備の点検、対応可能であれば修繕も行っている。

委員 【町公営住宅管理事業】

公営住宅3階への灯油の配送が困難と聞くがその対応は。

都市整備課 3階へ配送可能な業者の情報提供を行っている。

教育費

委員 【子ども体力向上事業】

令和2年度と比べ、参加人数が減少しているが。

生涯学習課 新型コロナウイルスの影響で実施回数が減っている。今後、コロナの状況を見極めながら再開の準備を進めていく。

委員 【スポーツセンター管理経費】

プールの採暖室の温度が低い。感染症対策で3人までしか入れないと聞くが、どのように対応しているか。

生涯学習課 採暖室はヒーターを増設し対応している。入室は3名または1家族としているが、十分な採暖ができるよう設定温度を高くするなど対応を検討

していく。

委員 【給食センター運営経費】

給食食材の高騰の影響は。

生涯学習課 平均すると約5%の高騰となっている。今年については保護者負担を上げずに運営する予定としている。

委員 【給食センター運営経費】

学級閉鎖、学校閉鎖時の給食費の取り扱い。 **生涯学習課** 運営規則で徴収しないと定められている。3月分の給食費で学級閉鎖等分を清算する。

委員 【教育コンピューター施設整備事業】

タブレット端末を利用した学習で、子どもの視力への影響は。

生涯学習課 運用開始から1年経つが、保護者から子どもの視力低下等の影響は聞いていない。

消防費

委員 【消防水利整備事業】

防火水槽の数と老朽化

した水槽の改修は。

総務課 町内の防火水槽は26か所設置している。耐用年数が過ぎたものもあるので、有利な起債や補助金を活用した更新計画を検討していく。

介護保険特別会計

委員 【地域支援事業費】

介護用GPSの活用効果は。

保健福祉課 過去に行方不明者の発見に至った実績もある。高齢者、認知症の方のご家族へのGPSの利用案内を行っている。

病院事業会計

委員

医師3名体制となっているが、収益的にはどのように影響しているか。

町立病院 小児科医の退職により1名の減となっているが、総合診療科として医師3名による小児の診療も行っており影響はないものと考えている。

私のまち・ひと・しごと

南幌高等学校校長 矢橋 佳之 氏

令和2年、南幌高校校長として赴任。閉校になることを分かって入学した生徒たちに、南幌高校で良かったと思ってもらえるため、できることには何でも挑戦することを目指に取り組んでもらっているそうです。

閉校まで半年となり、11月開催の閉校式の準備等で、大変忙しい中お話をさせていただきました。



★閉校に向けた生徒との接し方は

屋久島の言葉に「人は人中、木は木中」（木は木の中で育つように、人は人の中で育つ）とあるそうです。少しでも生徒の人間関係を豊かにするため、少しでも豊かな人間関係の中で生徒を育てていきます。また、人数の少なさは逆に「北海道で一番手厚い高校」というメリットだとも考えられます。生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめの細かい指導により、成長の最大化に挑戦していきます。

★町・議会へ一言

手厚く支援をしていただいていることに感謝しています。

★生徒からの一言（生徒の氏名は希望により非公表としています）

① 1番の思い出は？

- ・ クラスの皆と協力して楽しめた学校祭。
- ・ 金木高校との楽しく交流できた学校祭。（同時期に閉校する少人数の青森県の高校）
- ・ 農業体験と販売実習は良い経験だった。

② 今後の目標は？

- ・ 航海士になる。
- ・ かっこいい大人になりたい。
- ・ 伸び伸びと平々凡々な人生をおくりたい。



生徒たちが、南幌の地で学んで良かったと実感できる充実した高校生活が送れるよう、教職員一丸となり指導にあたっていることが感じられました。今年度掲げた目指す学校像の「Challenge! 成長の最大化に挑戦する」の実現を期待しております。（西股）

なんぼろ議会だより

令和4年11月1日 第160号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL 011-398-7250

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

《西股・内田・石川・加藤・細川》

印刷／（株）総北海

編集後記

すっかり秋も深まり、肌寒い季節になりました。

本町は今年、開拓130年・町制施行60周年の節目を迎えることとなり、議会一同、入植された先人の歩んできた歴史に深く敬意を表し、深く感謝の念を抱くところです。

議会は第3回定例会において、決算審査を行いました。決算審査特別委員会を介して町民の声を町へ届け、まちづくりへと反映されていきます。皆様の声が議員の力になりますので遠慮なくいろいろなご意見を聞かせて頂きたいと思っています。

今回の議会だよりは令和3年度の決算審査を中心に届けます。ぜひ御一読ください。

（加藤）